

# みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2012/03/18 Vol.18 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com / Twitter : @toshigu

http://www.mmirai.com (HP) <http://togu.seesaa.net/> (ブログ)

## 平成24年第1回 印西市議会定例会報告 (1)

いつもお世話になっております。印西市議会第1回定例会(2月議会)は、3月23日(金)迄の会期にて行われ、現在、休会中です。(予算委員会、常任委員会が開催されています。)

### 平成24年度 印西市 当初予算(案)について

1. 一般会計の概要 予算規模 309億1千万円 対前年度比 3.1%の増
2. 特別会計の概要 予算規模 137億9,871万3千円、対前年度予算比 5.9%の増
3. 平成24年度印西市予算規模 総合計 447億871万3千円 対前年度比 4.0%の増

議員に対して説明のあった平成24年度当初予算(案)の概要は市のHPからご覧になれます。

### 環境整備事業組合議会の報告会を開催します。(於：フレンドリープラザ)

報告会 日時：平成24年3月20日(火曜日・祝日) 13時30分～15時

場所：フレンドリープラザ(印西市木刈4丁目3-1)

駐車場が限られております。お車で来場の方は木刈小学校に駐車ください。

主催：

印西クリーンセンター移転を熟慮する組合議員の会(山本、ぐんじ(以上印西市)、野田(栄町))

「自分の土地でない場所を、了解もとれないまま地質調査を行い、不動産鑑定をするために予算をつけることは許されるのか??」

2月16日(木)に開催された今回の組合議会の来年度予算審査の中で私が執行部に問うたことです。

すでに報道等で皆様、ご存知の通り、印西クリーンセンター移転に関して、環境整備事業組合では当初予算で40億円の土地の取得費の計上を見送りました。この理由として、環境整備事業組合では(次期中間処理施設建設予定地の決定後、住民の皆様へこれまでの経緯や選定理由、施設の基本計画概要などを説明してきていますが)、説明会の中で、「説明が十分ではない」とのご意見をいただいたことから、ご意見を踏まえ、熟慮した結果、ご理解をいただくために、もう少し時間をかけ、丁寧に説明する必要があるためとしています。

しかし、一方では移転に関する準備は着々と進め、(今回の組合定例議会でも土地の取得費の計上を見送りましたが) 引き続きURの土地をクリーンセンターの移転予定地として考えていますので、地質調査と不動産鑑定をさせてくれと環境整備組合は予算付けを行い議員に提案してきました。

施設更新計画費 ・地質調査業務委託料 7,096千円  
・不動産鑑定書作成業務委託料 1,313千円

たとえば、家を建てる土地を探していて、土地を見つけたが、自分の土地でない土地をこの土地の購入を検討してるから、測量したい、不動産鑑定させてくれと言うのでしょうか?

そもそも、買い手が土地の調査をするというのがおかしい話で、買った土地に重大な瑕疵があった場合には、売り手に責任があると私は思います。(また、通常であれば、地質調査費は売る側のURが行うべきではないのでしょうか?)

さらに「継続費」として計上されている以下の委託料も精査すべきなのではないでしょうか。

- ・次期中間処理施設環境影響評価業務委託料 118,863 千円
- ・次期中間処理施設基本設計等業務委託料 10,485 千円

この「施設更新計画料 (138,340 千円)」については、疑義が多く、山本議員 (印西) と野田議員 (栄) と共に、上記4項目をはずして予算を計上してほしいと「動議」をかけましたが、残念ながら否決されました。(他の議員については、組合からの提案に対して、疑問を呈することもなく、何事もないかのように「賛成」の意思を示しました。)

- \* 当初予算に賛成し、事業を進めるべきと考える議員 (6名) =敬称略  
= 藤代、松尾、岩崎 (以上 印西市)、秋本、血脇 (以上 白井市)、藤村 (以上 栄町)

6名の議員の行動は、市民感情からかけ離れていると私は思いますが、市民感情から離れてしまったのは私なのではないでしょうか。

多くの市民の皆様には現状報告を行い、意見交換をします。お時間がある方はお集まりください。

**12/6(火曜日)に一般質問に立ちました。** 以下、市当局への質問と回答です。

## 2. 印西市における放射線/放射能対応について

印西市は本年1月1日に全面施行された放射性物質汚染対処特措法に基づく「汚染状況重点調査地域」に環境省より指定を受け、2月1日現在は、「印西市除染実施計画」を、国と協議し、放射性物質汚染対処特措法に基づく法定計画と位置付け、国の財政的及び技術的支援を受けながら、市域全体の除染を進めていく予定だと聞く。

- (1) 除染計画について 平成24年度の当初予算において、国の財政的支援はどの程度見込まれ、その支援は市民生活に安全、安心を与えるものとなるのか。

【回答/環境経済部長】 平成24年度に実施する除染に対する国の財政支援ですが、除染実施計画に定めた除染作業を実施する上で、必要かつ合理的と国が認める範囲内については補助対象としており、その場合は予算の範囲内で、国庫補助金として交付されます。

(ぐんじ注釈) 市の負担をできるだけ減らそうという考えだと思います。しかし、印西市は近隣他市に比べても圧倒的な財政力があります。市独自で対策を進めるべきではないでしょうか。

- \* 参考/「印西市放射性物質除染実施計画(素案)」の市民意見公募の実施について  
市では『印西市放射性物質除染実施計画(素案)』について、市民の意見(パブリックコメント)を募集しています。

◎意見募集の期間 ……2月28日(火)~3月12日(月)

◎閲覧場所 ……市役所行政資料室及び放射線対策室窓口・各支所・各出張所・各公民館・各図書館または、ホームページで閲覧ができます。

(市への再質問) 除染実施計画。3/12(月)までのパブリックコメントが終わった後の市の動きは?

【回答/環境経済部長】 除染計画の策定については今年度中、23年度に策定したい。

パブリックコメントが終わったあとには、環境省と正式協議を2週間程度経た後、その後計画の作成というスケジュールになる。

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。市政の最新情報を求める方は私のブログやツイッターをご覧ください。(随時更新しています)市民参加のまちづくりを引き続き、皆様と行ってまいります。宜しく願います。

ぐんじとしのり